

## 今なら間に合う！ 廃墟寸前の町家を再生し、八女福島の町並みを守りたい

八女市の市街地である福島地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、江戸期の町家が今も残っています。しかし、少子高齢化、空洞化によって空き家化したまたは解体されつつある町家を保存・再生し、伝統的建造物を活用して次世代に継承していきたいということで、今回クラウドファンディングに挑戦します。

空き家となった町家は、活用されなければ景観を損なうだけでなく倒壊のリスクが高まります。リノベーションした空き家は、入居者のマッチングや起業出店をサポートすることで、町家の保存継承だけでなく地域活性化が期待できます。

皆様からの寄附金は、空き家の再生に貢献します。

現在、20 数棟の空き家が存在し、町家を継承する人たちが年々減少していることから、今後も空き家が増えることが予想されています。

人が住まなくなった町家は、すぐに朽ち果ててしまいます。今まさに二度と取り戻すことのできない町家が失われつつあります。

NPO 法人の活動は、補助金、銀行融資、賃料収入で運営していますが、地価の安い田舎なのでギリギリで運営しています。

まだまだ現存する空き家に対応するために、皆様からのご支援が必要です。どうぞ日本の伝統的建造物を次世代に継承するために、ご協力ください。

募集開始前プロジェクト:令和元年 10 月 16 日から令和 2 年 1 月 16 日まで



<https://www.furusato-tax.jp/gcf/661>

このクラウドファンディングは『ふるさと納税』対象事業です！

ふるさと納税とは、ふるさとや応援したい自治体に寄

附ができる制度のことです。控除上限額内の 2,000 円を越える部分について所得税や住民税の還付・控除が受けられます。

ふるさと納税をもっと知る

私はふるさと納税をいくらできる？ (寄附金控除額のめやす)

### ふるさと納税で応援

#### ■ 空き家を解消して、未来に資産をつなげる

八女市 市長 三田村 統之

八女市もガバメントクラウドファンディングを通して、より多くの方に八女市の課題を知ってもらい、全国の多くの方のご支援をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



#### 改修工事からマッチングまでお世話をします

町家を愛していただけの方に使ってほしい

この事業は、八女市がガバメントクラウドファンディングをとおして NPO 法人の活動を支援するもので、「NPO 法人活動支援に係る寄附金交付要綱」により、「特定非営利活動法人 八女町家再生応援団」が活動を実施します。



このプロジェクトは、雨漏りで住めなくなり 2017 年に転居され空き家となり、NPO 法人に寄附していただいた旧倉富家(西紺屋町)を修復します。

もともとは芸者が休憩する置屋を兼ねた料理屋だったこの物件は、老朽化が著しく維持管理ができなくなった伝統的建築物で、雨漏りが酷く、シロアリによる被害大きいことが分っており、大きな改修工事を伴い

ます。



改修にあたっては、町家の価値を損なわないように、伝統建築の技術・技能者の集団「NPO 法人八女町並みデザイン研究会」と連携・協働して改修します。また、私たちは空き家の問題を広く知ってもらうために、内装改修の一部をボランティアによるDIYで行います。

改修後は、町家の魅力を感じて希望される「借り手」の方に紹介してマッチングを行い、入居や飲食店等の起業出店をサポートして活用を図ります。

■すてきな町家の再生を目指して  
景観や建築様式に配慮した改修を進めます

【事業実施のスケジュール】

- ・2019年10月～11月：実施設計・内容検討(伝建保存計画の基準に合致した修理について、デザイン研究会担当建築士、市、及び入居者との検討)
- ・2020年1月～7月：保存修理工事(一部ボランティアDIY)
- ・6月：修理後の空き家内覧イベント(地域住民向け)
- ・8月：起業店舗のお披露目会イベント(地域住民向け)

【寄附金の使い道】

旧倉富家の改修工事を行う費用の一部

- ・工事費等 2,560万円
- ・その他経費等 31.4万円

(内、ガバメントクラウドファンディングによる資金調達 181.3万円)

※目標金額に達しなかった場合であっても、当NPO法人が銀行からの融資額を増額して事業を実施します。

ふるさと納税で応援

古き良き時代を残し、新しい価値を生み出したい

町家の再生がみんなを幸せに

NPO法人 八女町家再生応援団は、これまでも40軒を超える町家のマッチングを行っています。

再生した町家の中には、八女に移住されて開店された「ao カフェ」や、九州の手仕事の魅力を発信されている「うなぎの寝床」や、地域食材を使った薬膳料理が人気の「八女サヘホ」など、市外から多くのお客さんが訪れるスポットとなっています。

この事業によって再生された町家が、あらたな賑わいの場所となり八女市を訪れる方の楽しみが増えることが期待されます。

■魅力のある店舗等を誘導し、路地裏に活力を

特定非営利活動法人 八女町家再生応援団 北島 力



私自身も NPO 法人の役員として、少子高齢化による空き家が増大する中、将来のまちの持続に危機を感じて、一人でも多くの仲間を増やし、日本の伝統文化である町家建築を後世に伝えるため、町家の継手の確保を取組んできました。

私自身も老朽化した町家をリノベーションして、八女福島で移住生活をしながら、住民皆さんに寄り添いつつ空き家再生活用の活動を推進しています。

まちの人口減少が深刻になる中、移住者や出店者を温かく受入れ、地域の活力とコミュニティを持続させていきたいと思っています。

■子どもたちに胸を張って伝えていける

えほん屋・ありが10匹。-books&coffee- 店主 伊藤 寛美さん



築 130 年の大きな建物の中で、扱っている絵本でいちばん古い発刊のものは 100 年前のもの。カフェで用意するのは、八女の野菜をつかったお料理。

先人が建てて遺してくれた安心して居られる空間で、子どもたちが安心して絵本を読んでいる姿には、希望が見えてきます。美味しい水と空気できている野菜や果物を、安心して子どもたちに用意してあげられることには贅沢を感じます。

子どもたちに胸を張って伝えていけるものがたくさんある。私が移住した八女という町は、そんなところです。

### ■ 古きよきものを慈しむ

アオ・カフェ(ao café)店主 矢部 秀成さん



2009 年 10 月。今から 10 年ほど前。八女福島検番に移住するとともに、アオカフェをスタート。

寂れた裏路地にひっそり佇む、築約 100 年のその趣ある建物は八女福島の芸子衆が集い賑わいをみせた場所。町並み全体が昔の風情を残し、住民もまた、その歴史や伝統文化を今に引き継ぎ続けています。

古い朽ちた歴史ある建物が多々残り、その姿、形を未来につなげるべく皆熱い思いを持って今も保存活動を続ける。そんな町並みで気づけば10年の月日が流れました。

はじめはやはり人気のない場所に苦労もしましたが、今では 10 年前とは比べ物にならないほど近隣に移住者や、店舗出店が相次ぎ、それぞれが独自の情報発信でいろんな層の顧客を呼び込んでいるように思います。

まだまだ自店も地域も発展途上の部分も多々あるように思いますが、それがこれからどう変わっていくのが楽しみでなりません。

私事ではありますが、来年1月をめどに近隣の町家をお借りすることができ、以前よりずっと胸に抱き続けていたアオカフェとは違うお店を出店できることとなりました。

そしてさらに次の展開も企画中ですが、それはまだまだそっとしまっておくことにします。

魅力的な建物が残るこの町で生活をさせてもらってとものんびりと、しかし忙しくも毎日過ごさせていただいています。情緒と歴史と文化と魅力溢れる八女福島。八女全体のこれからはとても楽しみです！！

ふるさと納税で応援

### ■ 寄附者の皆様へ

NPO法人 八女町家再生応援団からのメッセージ



失ってしまったものは二度と元には戻りませんが、伝統的建造物にご理解いただいた方、私たちの活動に共感していただいた方からの暖かいご支援に、心よりお礼申し上げます。

今、八女市は町家の再生でちょっとずつ面白くなりつつあります。閑散としていた町に人が増え始め、かつて都市圏に送り出した若者は、町家の良さに気づき戻ってくれる人もいます。



よそ者のイノベーションが地の者を刺激し、地の者はよそ者を暖かく迎え入れる良い循環がゆっくりと流れています。

そのような面白くあたたかい八女市に是非おいでください。お待ちしております。

ふるさと納税で応援